

中学校の先生 ○…十分だ ×…十分ではない

問8:こどもたちの読書環境は十分だと思いますか? 《理由》	
○	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館もあり、教室にも本を置いているから。 ・我々の時代にくらべると学校図書館、市民図書館、古本屋等が沢山あり、十分すぎる読書環境だと思われる。 ・学校にも何千冊という本があります。環境は良いと思います。 ・学校での読書環境が整っているから。 ・本校は今年度の図書費が多く、生徒のリクエストに応じた本を学級文庫として相当数揃えてくれているから。 ・学級にも入れてくれるようになったから。 ・学校図書館の数、市民図書館の存在、明屋等書店等、10年前、20年前に比べると改善されている。 ・環境は自分でつくるもの。 ・本校の図書室は十分だと思う。 ・図書館の本の充実。 ・近くに図書館があるから。 ・各学校に図書室が整備されており環境としては十分だと思う。 ・読む意欲を出すためにはどうすべきかが大切では…。 ・学校の図書室が充実している。 ・図書館があるから。 ・ある程度、整備されていると思うが、利用する側の意識に訴えることが(利用促進)十分できているかは、疑問。 ・図書室の本の充実。読書時間の確保がされているから。 ・冷暖房、コンピューターを設置している。冊数も充足されている。
×	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書が少ない。 ・本が少ない(学校に)。 ・インターネットやテレビなどを利用するため本離れの子どもたちがいる。 ・やっと最近図書館や学級に本を増やしているがまだまだ不足していると思う。 ・学校に司書教諭がない。 ・学校図書館の図書がまだまだ十分にそろっていない。 ・生活の身近に本が少ない。 ・家庭では、TVとゲーム、ケイタイ等そちらの環境の方が強い。又、学校は図書の蔵書が少なすぎる。 ・パソコンや携帯、テレビなど読書以外に子どもの興味をひくものが家庭の中にあるから。 ・学校生活、家庭生活の中で読書時間が十分保障されていない。 ・学校の図書館専任の職員がいないので、貸し出し等に課題がある。 ・朝読書だけだと読書する機会が少ないと思う。 ・読書の時間を作っても実際に読書をしている生徒は少ない。 ・学校図書館に司書や司書教諭がおらず、いても十分に機能できる状況にはない。予算も少なく、古い本が書棚に並んでいるのが現状である。 ・ものごとを知らなさすぎる。考える力がない。 ・常勤の図書館司書の常駐がないから。 ・家庭ではマンガ本以外読まないし、学校図書館の利用も殆どない。 ・家庭での読書が不足している。 ・子どもたちが忙しすぎてじっくり本を読む時間がないように思える。 ・時間は十分確保できているが、プロの手によるハード面の環境整備なり指導なりが学校図書館に入るとよいと思う。 ・学校図書館をもっと充実していったら触れる機会が多くなってよいと思う。

中学校の先生 ○…十分だ ×…十分ではない

問8:こどもたちの読書環境は十分だと思いますか? 《理由》	
×	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の確保が難しいのでは、と思います。 ・図書室の蔵書数がまだ不十分。 ・古い本が多い。 ・蔵書の数や種類(ジャンルも含めて)等不足している。 ・図書館の充実。 ・テレビやゲームなど、他の事に興味がある。又、勉強や部活が忙しくて時間が持てない。 ・学校で朝読書があるが、家ではどうだろうか。 ・テレビやゲームなどの興味が強く、本を手にとりにくい。 ・図書館が遠い。本の充実。 ・理由をききより学校へ来て図書かんを見れば。 ・学校の蔵書が少なく本棚等の設備も不十分。 ・その他の環境が発達しすぎてかえって本離れがすすんでいるのではないか? ・図書室が定期的に開放されていないので。 ・図書の貸出システムが確立されていないので借りにくい。管理しにくい。 ・本に接する機会がなかなかない。 ・場所と予算がないため棚が設置できず置き場所もない。(学校図書館) ・学校図書館に司書がないので、常時、図書館が開放できないので読書環境が十分でない。 ・校内の図書室を十分に活用できていないから。 ・蔵書が少ない(図書室)。 ・学校司書がないので、図書館の整備が十分に出来ていない。 ・蔵書数が少ない。空調設備がついてない。 ・大きな図書館が近くにない。読みたい本がすぐに手に入らない。 ・本校は3階に図書館があり、3年生の教室もあり1年生からすると行きづらいのではないかとと思われるので。 ・本校だけかもしれませんが図書スペースがオープンスペースのため静かに読書ができる環境整備も必要。 ・落ちついて読む時間が少ない気がする。 ・読むことに個人差があり、朝読書の時間でも、読めない生徒が多い。 ・本の数が少ない。 ・学校の蔵書数が少ない。図書館が遠い。(読みたい本を探して入手する手間がかかる) ・状況が自分自身わかっていないので「いいえ」としました。 ・本の質がよくない。近くに本屋がない。近くに大きな図書館がない。 ・司書教諭がいるとよい。 ・TVやゲーム、インターネット等で情報が散乱している。一番身近な学校で、司書がないなど機能が不十分。 ①読書する習慣ができていない。 ②読書する環境ができていない(他のことが多忙)。部活、塾、ゲーム、テレビ、など。 ・毎日の朝読書の時間を確保していますが、読む本の質までは指導できていないので。
十分だと 十分でない の間	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の蔵書は他の学校に比べるとそろっているとは感じますがまだまだいろいろな本の種類をそろえられたらと思います。
なし	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりません。条件によって違うと思います。
なし	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の図書費では十分に本が買えない。

中学校の先生

問9: どのようなことをすれば子どもたちが本を読むようになると思いますか？
・生徒の好きな本を増やす。
・学校だけでなく家庭での指導等。
・本の「おもしろさ」「意義深さ」等を感じさせること。
親子で読書をする。
・おもしろい本の宣伝や紹介なども含め、本のおもしろさに気づかせる。
・絵本をよんであげたり小さい頃からの意識づけと、発達段階やその子どもの趣味や、性格に合った本を探してあげる親、大人の努力も不可欠だと思う。
・親の姿勢、家庭環境(小さい時からの…)
・母親、父親が、子どもが小さい時から本を読んで聞かせる。
・子どもが興味を持つような本を紹介する など。
・できるだけ身近なところに多くの本をそなえいつでも手に取れる環境を作ること。
・親の世代への啓発活動等、社会に対するアクション。
・朝読書などを実施し、本に触れさせる。
・子どもたちが読みたいと思う本をまずは十分に準備し、身近な所に揃えるとよいと思います。
・静かに集中できる環境を大人がつくること。本の紹介(推せん)をしていくこと。
・幼児期の本との関わり。
・図書を身近に。
・生徒達が本当に興味を持つものについて知る。
・自分が読んでおもしろかった本など、紹介していく。内容をある程度で説明し、興味を持ってもらう。
・幼児期から読み聞かせ等にふれたりすることが一番。
・読みきかせやブックトークの機会を増やすこと。保護者に読書の重要性をアピールすることなど。
学校図書館の設備や人的配置、資料の購入、予算の増額等…。
・読み機会をたくさんつくってあげればと思います。
・家庭や学校などで読み聞かせなどをして興味を持たせる。
・常勤の図書館司書の常駐がないから。→ 常駐をぜひ推進を。
・小さなところからの読み聞かせ、本の紹介(新刊等)。
・TV、携帯からはなす。
・読書をする環境(時間、雰囲気など)を作ることが必要だと思う。また読みたい本がすぐには買える状況や借りれる状況になるとよいのではと思います。
学校内で読書の時間を設定することは大変よいことだと思います。
・楽しい、感動する本に出会うこと！！
・朝読書の継続など。
・生徒が希望する新刊が少ない。
・小さい時から本に親しむ習慣を身につけさせる。
・家庭、校内での読書習慣。
・幼児期からの読書習慣。朝読書のとりくみ。
・読書をする時間を与え、習慣化させていくことから始めていく必要があると思う。
・楽しみ読みならケータイ小説、マンガのノベライズを身近に手に取れるようにすれば読むと思う。
・朝読書などで習慣をつくる。(現在取り組んでいてとてもよいと思うから。)
・学校図書室の活性化。朝読書などの時間の確保。
Q 移動図書館は中学には来ないのですか？

中学校の先生

問9:どのようなことをすれば子どもたちが本を読むようになると思いますか？
・読書する時間をもっと確保すべき！
・新しい本を多く入れる。読書環境ハード面を整備する。
・家庭で本を読む環境がある。子どもの時の読みきかせ。家に本がある
・図書館内の本の紹介。
・まずは図書館に足を運びやすくなる仕組みが要るのでは？
○子どもたちのニーズに合致した選書、インターネット利用可、など、様々なサービス。
※サービス内容を知らせる。
・本の紹介。感受性を育てる。
・読みきかせ。幼児期から本を読む習慣をつけておく。
・図書館の人が、外に出て、読書の楽しさを伝えていったり、図書館の開館時間を長くして、もっと行きやすくする。
・さらなる図書館の充実。
・学校における、朝読書推進。
・親が本を読むように。読書デー等の呼びかけ(設定)。
・本の量と指導にある。
・幼児期のうちに本との関わりを多く持つ。
・本の内容がわかりやすく見ることができる工夫。
・朝読書でかなりの生徒が、読書の習慣が身についているように感じます。
・図書室だよりなどでおすすめの本などを知らせる。
・図書室環境の充実、整備。
・図書室の利用。
・本の紹介。
・学校への広報活動の拡大。
・本を読む楽しさを幼児の頃から体験させることが大切。家庭でも保護者も含めて読書の習慣がないので。
・面白そうな図書を定期的に紹介する機会を設ける。
・図書室の有効利用。(貸出時間が)
・学校司書の採用。学校図書館の整備。
・本を読む事の大切さを機会があるごとに呼びかける。
・わかりません。興味のある内容にしか手は伸びないでしょうし・・・。
・家庭でテレビを見る時間を減らすことによって本に接する機会が増えると思う。
・新刊本の紹介。生徒が興味を持てる本を揃える。
・本の楽しさを伝える取りくみをおねがいます。
・大人が本を読み、本を読むことは大切だということを、大人の実践でみせることが大切だと思います。
・小さい頃から家庭で読書の習慣をつける。
・司書もいないので、担当だけでは難しいが、本についてのお知らせを掲示する。
・朝読書等の推進。
・自分が本を色々読む。
・本のおもしろさを伝える。出会わせる。
・図書館の本の増冊。
・学校にも司書さんの配置が必要。

中学校の先生

問9:どのようなことをすれば子どもたちが本を読むようになると思いますか？

- ・図書の魅力をアピールする活動を増やす。(学校も市民図書館も)
- ・読書する時間の余裕を持たないと難しい。(中学生は学習、部活で・・・)
- ・読書への意欲、意識他。
- ・本とふれ合う機会を多くもつことだとは思いますが、どのような方法があるのかはわかりません。
- ・朝の時間を読書の時と決めていますがやはり余裕がないと読む気がおきないですよね。しかし、今の学校では生徒もいそがしすぎてその余裕はないかもしれません。あとは生徒の気持ちですね。
- ・学級図書(文庫)を設置して文学作品に親しめる雰囲気をつくる。
- ・本の紹介。
- ・保ご者が、本を読むと子どもも読む。
- ・幼児期より読書する環境をつくる。読みきかせ、よい本を与えるなど読書が好きになるように。
- ・学校での読書紹介や、図書館の充実。